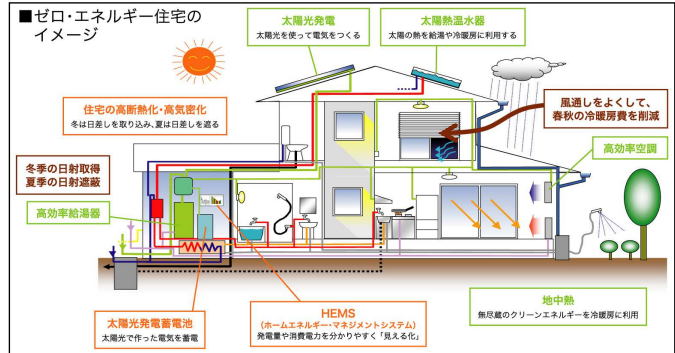
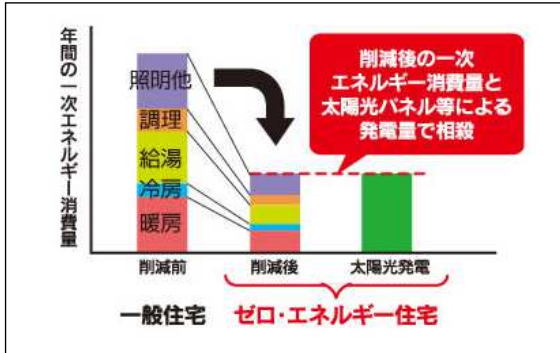


光熱費がゼロ(ゼロ・エネルギー)の家を建てませんか！

【ゼロエネルギー住宅とは】



ゼロ・エネルギー住宅は「省エネ」と「創エネ」により、エネルギー消費量をゼロにします

従来の一般住宅エネルギー消費量 **100%** - (**省エネ効果** 断熱・高効率給湯など **マイナス30%** + **創エネ効果** 太陽光発電など **マイナス70%**) = **0** (マイナス100%)

【ゼロ・エネルギー住宅のひ・み・つ】

高断熱・高气密の家

- ①太陽光発電(創エネ)

太陽光発電による創エネルギーが、ゼロ・エネルギー住宅の核となります。創った電気を家庭内で利用し、余った電気は高く売れます。
- ②HEMS(省エネ)

家庭のエネルギー管理をサポートするシステムです。電力の「見える化」を通じて省エネ効果を発揮し、家庭内のエネルギー消費をコントロールします。
 ※蓄電池(オプション)
 夜中に電気を蓄え、蓄えた電気を昼間に使うことで消費電力をピークをコントロールし、太陽光発電電力をより効率的に売電ができます。 など
- ③高効率給湯器(省エネ)

家庭でのエネルギー消費でもっとも割合が大きいのが給湯です。排熱・潜熱を利用する高効率給湯器はゼロ・エネルギー住宅では必須のアイテムです。

【シミュレーション(例)】		一般住宅	ゼロ・エネルギー住宅
購入物(土地)70坪		1,000万円	1,000万円
建築物(建物)33坪		2,000万円	2,250万円 ※増額内容:太陽光発電・HEMS・高气密高断熱化・その他給湯冷暖房設備
ローン	自己資金	350万円	350万円
	借入額	2,650万円	2,900万円
	借入種類	【フラット35】	【フラット35】S(金利Aプラン)
	金利(当初10年間)	1.27%	1.02% (▲0.25%)
	金利(11年目から残期間適用)	1.27%	1.27%
	総返済額	3,284万円	3,525万円
ゼロ・エネルギー住宅補助金(令和3年度版)	-	125万円~140万円補助	
年間光熱費	26万円	マイナス1万円	

ゼロ・エネルギー住宅は、一般住宅と比べて建築費が約250万円高くなります(インシャルコストがアップ)しかし、年間の光熱費が約27万円削減でき、35年間では何と**945万円の節約**となります(ランニングコストがダウン)

※シミュレーション結果は概算です。
 ※住宅ローンの返済額、金利は金融機関等によって更新時期や適用期間が異なります。正確なシミュレーションを行うためには、金融機関へお尋ねください。